

## 令和3年度 主要な施策の取り組み状況について

重点プロジェクト	
1. 高速交通アクションプログラム	2. 健康のまちづくり
3. 大野ですくすく子育て応援パッケージ	
新たな施策パッケージ	
4. 脱炭素	5. デジタル化
6. 高齢者の安心・生きがい	7. 地域づくり
8. 移住定住促進	

### 第2回大野市総合計画・総合戦略推進会議

日時：令和3年11月4日（木）午前10時～

会場：結とぴあ305・306

# 重点プロジェクト

## 1. 高速交通アクションプログラム

「地域経済」分野

「くらし環境」分野

### 【中部縦貫自動車道の整備促進】

- 大野油坂道路の（仮称）和泉IC～（仮称）油坂出入口区間が令和8年春に開通見通しと公表
- 1日も早い県内全線開通に向けて、国土交通省、財務省、県選出国會議員などに要望書を提出

### 【道の駅「越前おおの 荒島の郷」】

- 4月22日に開駅。来場者が8月18日に年間目標38万人を達成、10月7日に50万人達成
- 道の駅から市内への回遊促進のため、「おおの体験ブック」でのPRやレンタサイクル「九頭竜ぐるっとペダル」を実施



道の駅「越前おおの 荒島の郷」

### 【星空保護区認定に向けた取り組み】

- 光害やエネルギー問題を市民と学ぶ機会としてライトダウンイベントを実施（7/7、8/8の2回）
- 光害対策として南六呂師区の防犯灯の入替工事を実施
- 「星空の街・あおぞらの街」全国大会の令和5年度開催候補地に決定

### 【越前おおの産業ブランド力向上計画】

- 大野市のブランド力を高め、事業者の稼ぐ力に繋げるため、年度内の策定に向けて作業中
- 市民アンケートを行い、大野市のイメージや磨いていくべき地域資源などを調査
- 10月までに2回の策定委員会を開催し、現在、事業者・団体との意見交換を実施

### 【JR越美北線の利用促進】

- 市民や団体、県、福井市と連携して利用促進の取り組みを強化
- 「越美北線と乗り合いバスに乗る運動を進める会」の取り組みとして、高齢者に対する回数券4割補助、サポート企業の募集、利用者に対するHOROSSA!の体験料金の割引などを実施



JR越美北線

# 重点プロジェクト

## 2. 健康のまちづくり

「健幸福社」分野

### 【おおのヘルスウォーキングプログラム2021】

- 令和2年度に引き続き、健康寿命の延伸と医療費削減を目的として、参加者に活動量計を携帯してもらい、ポイント制によるウォーキング事業を実施（事業期間は7月～翌年1月まで7カ月間）
- 令和3年度は、40歳以上の市民700人が参加（令和2年度は200人）



おおのヘルスウォーキングプログラム2021

### 【健康おおの21・大野市スポーツ推進計画の改訂】

- 健康おおの21、大野市スポーツ推進計画ともに策定委員会などを開催し、改訂に向けて作業中  
今後、パブリックコメントを経て、年度内に新たな計画を策定予定

## 3. 大野ですくすく子育て応援パッケージ

「こども」分野

### 【令和3年度版 大野ですくすく子育て応援パッケージ】

- 令和2年度に引き続き、妊娠期から乳幼児期、学童期、思春期までといったライフステージに合わせた子育て支援や、若者支援に関して重点的に取り組む施策を取りまとめて、情報発信
- 令和3年度からは新たに、小中学校の給食に全て地元のお米を使用したり、新婚世帯に住居費や引越費用を補助したりするなどの支援策を追加



大野ですくすく子育て応援パッケージ

# 新たな施策パッケージ

## 4. 脱炭素

「くらし環境」分野

### 【地球温暖化対策の普及啓発】

- 地球温暖化対策啓発パンフレットを作製
- 子どもたちが楽しく学べるようEco落語、Eco紙芝居を実施
- 省エネ家電、エコカーなどCO<sub>2</sub>削減につながる商品を市民に勧める事業者を募集し、「結のEco協賛店」として登録（10月12日 現在 31事業者が登録）
- 広報おおのに温暖化対策を紹介する記事をシリーズで掲載中



中学校でのEco落語

### 【生分解性マルチの利用促進】

- 里芋を栽培する農業者に生分解性マルチの購入費用を補助し、プラスチックごみの削減と農業の省力化を促進（10月19日現在 30件に補助）

### 【フードドライブ・食品ロス学習会】

- 8月に包括連携協定を締結した福井県民生活協同組合の協力のもと、「フードドライブ」や「食品ロステーマにした学習会」を実施



フードドライブ食品回収箱

### 【脱炭素の推進体制】

- 全庁的に脱炭素に取り組むため、脱炭素推進本部を設置し、施策を総合的に推進
- プロジェクトチームを結成し、関係課室の担当者が事務事業レベルで検討
- 総合計画・総合戦略推進会議のもと、「ごみ減量部会」を設置し、ごみの減量化・資源化を進めるための方策を検討

### 【脱炭素ビジョンの策定】

- 再生可能エネルギーの導入目標や実現方策等をまとめた脱炭素ビジョンの令和4年度策定に向けて、CO<sub>2</sub>排出量及び吸収量の現況調査や関係者へのヒアリングを実施中

# 新たな施策パッケージ

## 5. デジタル化

「行政経営」分野

### 【行政内部の業務の再構築】

- 限りある職員数と予算で、質の高いサービスを提供し続けるため、行政内部の業務効率化に着手。具体的には、先進的な民間企業の協力を得て、効率化の対象を77業務に選定し、改善方法を検討中
- 会議や打ち合わせのペーパーレス化を推進するため、本年度中に業務用ネットワークの無線化と端末の整備を実施予定



管理職職員向け研修会

### 【マイナンバーカードの普及促進】

- 国のマイナポイント付与制度の終了に伴い、市独自の普及キャンペーンとして、新たにマイナンバーカードを申請した方（先着5,000人）に、1人3,000円分の「お買物券」を進呈
- 公民館やコロナワクチン会場、商業施設での出張申請サポートを実施（10月10日現在 市民へのカード普及率 37.5% ※3月末から12.7ポイント上昇）

## 6. 高齢者の安心・生きがい

「健幸福社」分野

### 【大野でいきいきシニア安心パッケージ】

- 高齢者の生きがいづくりや外出支援を目的としたタクシー割引チケットの配布、お出かけほっとサロン、フレイル予防教室など、高齢者向けの様々なサービスを取りまとめたパンフレットを作製して情報発信。



大野でいきいきシニア安心パッケージ

# 新たな施策パッケージ

## 7. 地域づくり

「地域づくり」分野

### 【地域課題の解決に向けた話し合い】

- 人口減少、少子化・高齢化の進展により生じている各地区の課題を住民が主体的に解決していく体制を整えていくため、市職員が1月から5月までに9地区の区長会に出向いて、住民主体の課題解決の必要性や進め方を呼び掛け。
- この結果、大野地区、阪谷地区で具体的な協議が開始。大野地区では課題解決に向けて検討する発起人会が設置され、阪谷地区では現状分析のため人口や世帯数などの推移データを収集する作業が開始された。



地域課題の解決に向けた話し合い

## 8. 移住定住促進

「地域づくり」分野

### 【大野に来て見て住んで応援パッケージ】

- 移住に興味がある人の不安や心配を解消するため、大野市の様々な移住支援策を取りまとめたパンフレットを作製し、移住相談などで配布。全体の概要版のほか、移住希望者の生活スタイルに合わせて「田舎暮らし」「女性応援」「デジタル」に焦点を当てた個別版がある。
- 10月15日現在、大野市の移住支援を受けて9人（6世帯）が市内に移住

【概要版】



【個別版】



大野に来て見て住んで応援パッケージ